



瀬谷区防災三団体合同創立50周年記念事業実行委員会

火災時の安全確保研修会

- 2月20日 横浜市瀬谷消防署 -

瀬谷区防災三団体合同創立50周年記念事業実行委員会

〈カラーグラビアP. 9参照〉

火災時の安全確保研修会

- 2月20日 横浜市瀬谷消防署 -

横浜市瀬谷消防署は2月20日、同区の防災三団体（瀬谷火災予防協会、瀬谷地域防災連絡協議会、瀬谷消防団）の創立50周年記念事業の一環として、火災時の安全確保研修会を行った。

この研修会では、小林恭一東京理科大学教授（P. 9下段写真右上）をはじめとする「老人福祉施設・学校教育施設の避難安全性に関する研究会」（特定非営利活動法人日本防火技術者協会）のメンバー等が講師を務め、同研究会が「知識を知恵とし、施設の弱点を見つけ克服するための火災図上演習」として開発し啓蒙を行っているFIG（Fire Image Game）等が行われた（詳細は、この研修会でもテキストとして使用された近代消防社発行「高齢者福祉施設の夜間火災時の防火・避難マニュアル」を参照）。

研修会には、瀬谷区内の事業所が集まって防災・減災活

動に取り組む任意団体、Seya防災ネットワークから高齢者福祉施設の職員等、42人が参加した。

Seya防災ネットワークは、法や条例などに基づいた組織ではなく、瀬谷区内の様々な業種・団体が「防災・減災」を合い言葉に集い、学び、共に助け合う集まりで、現在、360を超える団体が参加し、各種訓練や研修会を通じて協力関係を築いている。また、地域に根ざした効果的な取組などを表彰する、平成31年の第23回防災まちづくり大賞（主催：総務省消防庁、委員長：室崎益輝・兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科科长）において、同団体の災害時要援護者支援活動、消防訓練交換会の開催風水害時の一時避難場所提供覚書の締結、その他の活動が認められ、総務大臣賞を受賞した。表彰式は3月4日、ホテルルポール麹町（千代田区平河町）において開催された。